

かえでの森

第 5 9 号 平成 3 0 年 4 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
訪看「マリア」と「マリアの家」及び地域の医療・福祉機関との連携を強化します



新年度を迎えて



一般財団法人 神山復生会
理事長 畠山敬一

1. 真に患者様、入所者様に喜ばれるようにするには何が必要か
2. どうしたら安心、安全を患者様に届けることができるのか
3. 仕事に役立つ勉強をしっかりと続けよう
4. 身の回りの整理整頓をしっかりとやろう

今年度は、診療報酬・介護報酬のダブル改定が行われ、また一部の療養病床については、業態変更しなければならなくなりました。経過措置期間がありますが、何もしてないと経過措置期間後に業態変更もできなくなり、廃止に追いやられるかも知れません。

これは 2025 年問題を抱え、行政のそれほど厳しい状況に対する強い意志が見え隠れしています。

「先んずるものは制す」という諺がありますが、時期を逃してしまえば他に先を越され、取り残される恐れがあります。しかし「急いてはことを仕損じる」という諺もあります。あまり急いで物事をやると失敗しますよ、ということですが、私たちはそのバランスを取りながら、見極めを行い、実行に移していくという難しい作業を行わなければなりません。

ただ私たちは如何なる状況におかれても病院の理念とともに、冒頭に記した4つのことを常に考えながら行動をとらなくてはなりません。なぜなら患者様、入所者様はこういった状況に対して不安に思っているからです。そこで大切なことは職員がどっしりと構え、自分の持ち分の仕事を確実にこなしていくということです。

神様はいつも見ておられます。そして一生懸命努力を重ねれば、必ずよい方向へと導いてくれます。努力することで私たちも平静でいられ、来るべき時に判断を下すとき、「冷静」な判断ができるということです。いずれにしても今年度が神山復生会にとって非常に重要な年となります。

新入職員も含めて、みなさんといろいろな場面でお話をしたいと思っております。

吹く風優しく、当院の木々の緑に心休まる思いがします。富士山を仰ぎ、大自然のエネルギーをしっかりと体に蓄え、来るべき時に備えましょう。





平成30年度 神山復生病院目標



診療部

医 局

1 全人的医療の実践 2 安全で良質な医療と療養の実践 3 地域医療への貢献と連携の強化
地域連携・医療福祉相談室

- 1 患者・家族からの医療相談・入院相談を丁寧に行う
- 2 地域の医療介護福祉関連施設との連携を強化する
- 3 常に満床になるよう迅速に受け入れる



薬 局

- 1 医薬品の適正使用を通して、安全で効果的な医療に貢献していく
- 2 他部署との連携を密にし、顔の見える薬剤師として職能向上に努める

栄養課

- 1 他部署との連携を密にし、患者様の情報を共有することにより、業務の質向上に努めていく
- 2 マニュアル類の見直し・改訂を行い、内容の充実を図る

リハビリ

- 1 患者様の願い、楽しみ、喜びを共に見つけ穏やかな入院生活を送れるよう工夫していく
- 2 機能評価に準じた業務体制を整え、多職種連携のもと、迅速な書類作成に努める



看護部

全体目標 私達看護部はキリストの愛に基づき一人一人の生命を尊重した、全人的ケアの実践に邁進する

教育目標 全人的ケアを真心と責任を持ち実践できる自律した専門職者として、また一人の人としての成長を支援・育成する

療養病棟 その人らしさを大切にした全人的ケアを実践する

- ホスピス病棟
- 1 ホスピス緩和ケアの専門性を高め、より良い医療・看護・介護を提供する
 - 2 スタッフ間の和と輪を大切に、相互理解を深める

外 来 外来看護における全人的ケアを実践する

事務部

- 1 患者様から選ばれる病院となる接遇を行う
- 2 病院の経営安定化の為に対策を立てる
- 3 「報告・連絡・相談」を確実にし、情報共有を図る
- 4 個々の担当業務は責任を持って行う
- 5 介護医療院への転換を円滑に行う為の情報収集をしっかりと行う
- 6 積極的に業務を見直し、職場環境の改善に努める
- 7 病院の質評価を見える化する為に、評価指標のデーター化を進める



訪問看護ステーションマリア

- 1 経営の安定化を目指し、目標値をスタッフ全員の課題としたサービスの提供に取り組む
- 2 スタッフの連携を図るため訪問看護の標準化を目指す
- 3 チームワークを大切に育ちあう職場にする

小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家

一人ひとりの利用者様とそのご家族と丁寧にかかわることで、マリアの家の存在価値を地域に認めていただく





平成 29 年度 神山復生会 成果・研究発表会

平成 29 年度神山復生会成果・研究発表会を 3 月 22 日に開催しました。今年はマリアの家を含む 5 題が発表されました。

「身体拘束廃止における取り組み」

マリアの家 大石美幸



今年度「マリアの家」が開設し、新たに在宅部門として「身体拘束廃止」の研修に参加し事業所における取り組みの成果を発表させて頂きました。日々の業務の中で、認知症の方や体が不自由な方など高齢者の判断力の低下が多くみられます。しかし「マリアの家」では、その人らしくご自宅と同じように生活していただきたいと、まずスタッフの勉強会を行い身体拘束に関する知識を得ることから始めました。そして身体拘束ゼロ宣言を行い、日々利用者様と関わり丁寧な観察を行う事を心がけています。今回この取り組みを行うことにより、職員の意識統一が図れたことは大きな成果でした。今後も、より知識を深めながら利用者様の尊厳を守り、その人らしく暮らし続けていけるよう、より良いケアを提供していきたいと思います。また、病棟・外来の発表も参考になりました。今後も連携をとっていきたいと考えています。

「スタッフの患者との死別に対する感情について考える」

ホスピス病棟 新國千恵



緩和ケアの領域に関わるスタッフは患者さんの死別に関わる機会が多く、それは家族と同じく喪失を経験したと言える。しかし休む間もなく他の患者さんにケアを提供しなければならない。また、思いを敢えて言葉にする機会も少ないと感じた。そこで今回、患者さんの死別に対し、どう思っているのか知りたいと考え、ホスピス病棟のスタッフにアンケートを行った。結果、「死」という悲しみや喪失感等の負の感情に目が向けられがちであるが、アンケートを通して、看護を実践した満足感や達成感・安堵感といった正の感情を抱いている人もおり、アンビバレンス（両価性）な感情を少なからず持っているスタッフもいると分かった。また、スタッフが自分の思いを表出できる環境作りが大切であると考えられた。このことから、デスカンファレンスの充実、上司や専門家による心のサポートが今後の課題として考えられた。この発表が私達のこれからのより良いケアの提供やスタッフのグリーフの充実につながっていく事を願っている。

「骨折に至った転倒・転落の発生傾向及び発生要因」

療養病棟 渡辺裕介



今回過去の事例から転倒転落の分析を行いました。インシデント・アクシデントレポートの中で、転倒・転落に関する報告が多く、転倒・転落防止策をたてていますがインシデントがゼロになる月はありません。事例の分析で療養病棟の患者さんの日常生活の自立度には波があり、それが原因で転倒転落を起こしやすいことがわかりました。今後も病棟内で情報共有できるよう多職種を含めたカンファレンスおよび、インシデント・アクシデントレポートの原因分析を十分行う必要があります。そしてリスク感性を高め、アセスメント能力を向上し続けることで転倒・転落インシデントゼロを目指したいと思います。

「～住み慣れた家で生活したいという希望を叶えるために～」

外来 伏見こず枝



外来では、～住み慣れた家で生活したいという希望を叶えるために～と題して、事例報告を行いました。私たちが日々行っている外来看護の中にも、患者さんやご家族・医療者等いろいろな人たちの「想い」がこめられています。すぐに解決できそうな問題点も、そこに「想い」があるからこそ難しいこともあります。ご本人の想いを大切に、少しでもその想いが叶えられるような支援をしていきたいと考えています。

また、外来の限られた時間の中で十分な対応ができるよう今後も努力したいと思います。

「チーム療養」

療養病棟 草野三千代



H29 年 4 月に師長となり、療養の仲間を支えられて一年を乗り越えることができました。この一年の間、新しいスタッフが次々と入職され、日々スタッフの教育に追われながら病棟運営を行ってきたと感じています。師長として悩みながらも病棟運営してきた実際を、データを基に振り返り、何が問題で、どのように解決をしてきたかを発表しました。

この 3 年間の患者数やスタッフの人数を見ると、病棟は常に変化している状況であることが解ります。しかし、常に目の前にいる患者さんを大切に思いケアをしていく事で、状況は変化しても、病棟が大切にしている、寄り添うケアを提供していけると考えます。人は変化し成長していきます。だからこそ、師長である私は、スタッフの成長を支えながら、楽しく仕事をする事で、生き生きとした職場がいつの日か出来ると信じています。そんな職場風土を築きながら、療養病棟は来年度、介護医療院開設にむけて準備をしていきたいと思っています。



←
発表者の皆さん

→
飛澤院長の講評



外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制

土曜日の内科の診察は第2週のみ



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科(岡部) 第2週のみ 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

皮膚科外来予定表



太田 有史 医師	診察日	4 / 7 ・ 5/5 休診 ・ 6 / 2
新村 真人 医師	診察日	4 / 14 ・ 5 / 12 ・ 6 / 9
井ノ口早苗 医師	診察日	4 / 21 ・ 5 / 19 ・
石地 尚興 医師	診察日	4 / 28 ・ 5 / 26 ・ 6 / 23
白井 暁子 医師	診察日	6 / 16 6 / 30

都合等により、休診や代診場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

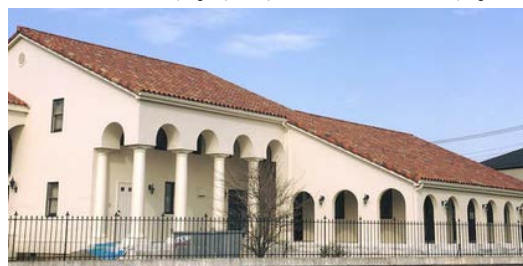
今回のおすすめ

『美容室 Jam Creative Hair Design』

今回私がオススメするお店は Jam Creative Hair Design という美容室です。

私の髪の毛はクセが強く、どんな髪型が自分に一番似合うかわからなくなっていた時にこの美容室に初めて行きました。

とても丁寧に対応してくれて、クセもできるだけ出にくくしてくれました。理想の髪型に近づけてくれるので、今では私の大事な生活パートナー、私の癒しになっています。是非オススメです。



(紹介者 ホスピス 芹澤迪子)

お知らせ

復生病院の QR コードが出来ました

簡単にホームページをご覧いただくことが出来ます。是非、使ってみてください。



編集 後記

暖かな風が吹いてきて、だんだんと日和南風(ひよりまじ)になってきました。日和南風とは桜の咲く頃に吹いてくる、南からの緩やかな暖かい風のことだそうです。

去年は長雨でお花見が出来ず終いでしたが、今年はお花見が出来ると良いですね。

次号もお楽しみに。

